

# 令和3年度 第1回 大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会 議事概要

1. 日 時 令和3年10月1日（金曜日）午後2時から3時10分まで

2. 場 所 大阪府日本万国博覧会記念公園事務所 第2応接室

3. 出席者

加我委員長

以下の委員は、オンラインでの出席

清水副委員長、伊藤委員、玄野委員、権野委員、藤本委員

4. 議題

(1) 令和3年度 評価委員会の進め方について

(2) 公園の運営管理について

・来園者の状況等

・令和3年度 事業実施計画

・園内立入規制の実施について

(3) 今後のスケジュールについて

(4) その他

5. 主な議事内容

(太字：委員 細字：事務局)

(1) 令和3年度 評価委員会の進め方について

(事務局より「資料4 大阪府立万国博覧会記念公園指定管理者評価委員会の進め方」及び「資料5 評価項目対応表」に沿って説明)

○内容について了承。

(2) 公園の運営管理について

(事務局より「資料6 公園の運営管理について」、「資料7 令和3年度 事業実施計画書（抜粋）」、「資料8-1 園内立入規制のお知らせ」、「資料8-2 園路の立入り規制解除に向けて」、及び「資料8-3 園内立入規制一部解除のお知らせ」に沿って説明)

○来園者数の減少は、やむを得ないと考える。緊急事態宣言に伴う公園の閉園や倒木事故に伴う万博の森の長期間における立入規制の影響はあると思う。その上で、公園の運営管理については、様々な努力をされていると思う。

○指定管理者の今年度の目標値（KPI）は、どのようになっているのか。

⇒昨年度においては、来園者数300万を目標にしていたが、今年度以降については、各年度の事業実施計画記載のとおりであり、目標の売上高等は定めていない。

○キャッシュレスにおける取組みは、とても重要だと考える。

また、7月から販売されていると説明のあったセット券（万博お得チケット）について、どの程度広報されているのか。

⇒キャッシュレスの取組みについては、指定管理者において、入園ゲートでの取組みを検討いただいているところだが、具体的な提案にまでは至っていない。

なお、今年の6月より販売している太陽の塔の予約セット券、7月より販売している万博お得チケットは、それぞれ事前予約、事前購入のため、現地での現金支払いが不要となっており、一定利便性の向上に寄与していると考えている。

また、万博お得チケットの販売にかかる広報については、府より指定管理者へ、コロナの状況を鑑み、人流を抑制する観点から、可能な限り広報を控えるようお願いしていたことから、積極的な広報は行っていない。なお、10月1日より、緊急事態宣言が解除されたことから、今後ホームページ等への掲載等、販売促進をお願いしているところ。

○広報の点について、万博記念公園は、インスタグラムのフォロワーが約1.5万人もいるが、ユーチューブにおけるチャンネル登録者数は約700人しかいない。内容を見るに、インスタグラムの内容の一部がユーチューブにおいても配信されているようだが、もっと配信頻度を高め、かつ相互の連動を図ったほうが効果的であると考えます。

⇒頂いたご意見については、指定管理者へお伝えし、今後の活性化に期待したい。

○例えば、万博お得チケットについて、ホームページには案内があるが、インスタグラム等で全く配信されておらず、非常にもったいないと感じる。インスタグラムは、フォローしていれば毎日見るものであり、1.5万人への広報効果が期待できる。緊急事態宣言下であり、積極的に広報することができないのは理解できるが、こういった時期だからこそ、一生懸命広報し、緊急事態宣言が明けた際の集客に努めるという戦略も必要。

○昨年度、今年度とコロナ禍が続いている。公園として集客が見込めるこの季節も、イベント実施はなかなか難しい。入園者数をどのように回復させるかは、大きな目標の一つとなる。しかし、コロナの影響が無かった時のように入園者数230万人は現状困難。一方で、イベントが実施されない中でも135万人は万博公園に安らぎと憩いを求めて来園されているとも言える。この方たちは、万博公園の本当のファンであり、このような方たちが公園に来て十分に満足してもらえるように取り組むことが重要である。そういった意味では、秋の利用者満足度調査は非常に重要といえる。また、コロナ禍で外出自粛等が続くなか、近くの公園が重要視されている。その一つとして、万博公園が機能を発揮しているとの見方もあるのではないかと。

○今年度の取組方針については、昨年度末に策定され、それから半年が経過している。これまでは、コロナの影響等、日々刻々と状況は変化していると思うが、現状の考え方を教えてほしい。

⇒事業実施計画においては、今年度もコロナによる影響があると見込んだ上で計画を立てていただいている。また、昨年度同様、公園を維持管理できる最低限の水準は保つよう計画されている。臨時閉園やコロナによる影響により、集客イベントの実施はなかなか難しい状況であるが、反転攻勢に向けた準備として、今後の広報戦略を充実させていきたい。

○キャッシュレス化への取組みが遅れているように感じる。最近では、現金を持って

の生活が不慣れになってきており、利便性の観点からもそう感じる。

○先ほど初めてユーチューブを拝見したが、サムネイルが簡素で全く興味をそそらない。もっと視聴者が観たいと思うような工夫をされてはどうか。

○事業実施計画（抜粋）について、この資料は本日の委員会向けにどのように作成されたものか。残り半年、緊急事態宣言も明けて、以降の具体的な計画は考えられているのか。

⇒実施計画の本編については、約 50 頁にも及ぶことから委員会用の資料として抜粋版を事務局において作成させていただいた。なお、実施計画の中身については、公園の緑地や施設の維持管理に関する内容が多くを占めており、こちらについては、例年大きな差異はない。事務局としては、評価委員会への説明内容として、毎年度内容が大きく変わる取組方針や、イベント計画、広報戦略、新たな施設や取組み、昨年度の倒木事故を踏まえた対応等をピックアップさせていただいた。なお、10 月以降の具体的な計画（変更計画）の策定までは事務所として今のところ想定していない。

○当初の計画が終盤になって、結局次年度以降に伸びてしまったとなるのは違う。そこは、計画通り実施されるよう努力してもらう必要がある。また、本日の委員会で出た意見は、指定管理者へもしっかり伝えてほしい

○広報戦略にかかるソーシャルメディアの有効活用、コロナ禍でイベントがない中での情報発信は重要といえる。これは、世界的にも各公園で見られるもので、ニューヨークのセントラルパークにあつては、公園に関する歴史の配信を改めてされており、従前よりも発信頻度も高い。今はコロナで行けないが、落ち着いたら行きたいと思わせる取組みは重要。また、公園で花などの植物の世話する人や、世話をする方法、心がけの紹介も増えている。公園は自然だけでなく、人とも触れ合える、そして人を見ることで安心感を抱く場所でもある。

(3) 今後のスケジュールについて

(事務局より「資料9 今後のスケジュールについて」に沿って説明)

○3月開催予定の評価委員会までに、現地視察はあるのか。

⇒状況を見ながら、検討する。

以上